



刊夕 日二十月二十

座講識常

遊戯中の幼女が

入換機關車に轢かる

高久消防検閲

平鐵弓道班の納會

### 三萬町民多年の要望 大平市建設への歩み

#### 民間調査委員の顔觸決定か 近く招集される今年最終の町會で

（既報）青沼町長が多年抱懐してゐる大平市建設案は前町會に於て大調査委員設置案となつて現はれ産業、土木、交通、資源、その他五部門に分れた調査委員設置の決定を見るに至り今後三ヶ年計画の下に三萬町民の要望たる大平市の出現を見んとしてゐるが此の調査委員定員四十名の委員中町議三十名は全員委員に推薦されるが残り十名は民間側の有力者から推薦されることになつて居り何せ大平市建設の大事業の委員だけに相當食指を動かしてゐる人も多く秘かに暗中躍を策してゐる者もあるらしいが當の推薦者たる青沼町長の肚裡には既に大体の顔觸れが描かれてゐる。

### 十一月の濱通木炭 前月より生産減少

#### 原因は山村の救濟工事の爲め 明春早々急激な増加豫想

濱通りに於ける十一月の木炭生産高は平水検査所の検査數に於て總計二十萬七千三百八十六俵で前月検査高の二十萬七千三百四十三俵より僅かに四十三俵の増加に止まり需要期節を控へての増産豫想を裏切られてゐるが原因は山村の凶作に對する救濟工事施行の爲めらしく石双三郎の生産比を上ぐれば

|                   |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|
| 相馬三五一五七俵（前月三〇〇六二） | 双葉九五七四一（前月九二七〇八） | 石城七六四八八（前月八〇五七二） |
|-------------------|------------------|------------------|

であつて相馬郡は一〇五俵、双葉郡は三〇三俵の増加を示したが石城郡の如きは四千八十四俵を減産してゐる此の傾向は救濟工事の現在する關係上十一月も同様の状態かと見られてゐるが該工事は精々本月初旬迄の明年一月から急激な生産増加が現はれるものと豫想され之れと同時に木炭價の下落を必係と語られてゐる而して十一月までの本年度生産高は百四十九萬四千九俵に達し昨年同様の六十六

### 出荷皆無を續けた 石城販聯の米共販

#### 昨日の取引一俵十圓七十一錢 糯は十一圓六十八錢

石城郡販聯に於ける米米共同販賣は數回に亘つて出荷皆無を續けてゐたが昨十一日初めて本年産米の第二回取引を行はれた當日の出荷は極めて少量で飯野村から出た糯米四等八俵、粳米等外六俵計十四俵に過ぎず競争入札の結果は四

### 遊戯中の幼女が 入換機關車に轢かる

#### 胴体眞二つになつて惨死

内郷村大字白水字入山三七居住磐城炭坑々夫安齋彌三女ナツ子（三）さんは今日十二日午前十時頃自宅附近磐城炭坑専用入替線路附近で遊戯中肯進して來た平機關車に相川鶴吉運轉の入替機關車に氣付かず胴体眞二つに轢断慘死した平署から橋谷田部長出張検視の上で屍体は家人に引渡された。

### 師走氣分漸く濃く 朗かなボーンナス風景

#### トツプを切る鐵道關係 有封に入る炭礦や會社

郡下町村の風水害その他各種災害地から復舊工事促進を叫ぶ。縣補助確定す。

### 交通違反 總數四百余件

平署署署では去る十日來恒例による歳晚交通取締特別執行中であつたが同署管内に於ける交通違反總數に四百有餘件に達して居り夜間無燈火その他輕微な交通違反者に對しては説諭注意等に止めたが平町四十五件、湯本町二十四件、小名濱、内郷村各十八件

### 移轉御案内

拜啓 時下初冬の候御高堂益々御清榮の段奉慶賀候陳者弊店儀永年の間格別なる御厚情御引立を蒙り候段難有奉感謝候就ては今般左記の場所に移轉仕り候何卒從來通り御引立の程奉希上候

先は御案内迄如斯御座候

昭和九年十二月十日

福島縣平町大町四（平署署署東大通り）

### 其漁法

川魚の習性と... 鮭鱒の様な大きな魚類を長く保存し様とするとき行ふのでありまして鹽の多少によつて保存期間に差を生じます。何れの場合も腹部より内臓を引き出して鹽を充分に填實す

### 本商店

玩具 根本商店 立花屋 號

### 小麥増殖の 品評會開催

石城郡農會では十二日午前十時から郡下町村駐在農業技術員會議を招集農林課から係官臨席の上小麥増殖品評會日取りその他を協議した

